



2月度の
の御書

「乙御前御消息」

御文

古の御心ざし申すばかりな

し。それよりも今一重強盛に

御志あるべし。その時はいよ

いよ十羅刹女の御まぼりもつ

よかるべしとおぼすべし

(御書新版1689ページ 御書全集120ページ)

意味

これまでのあなたの深い志は、

言い表すことができません。し

かし、それよりもなお一層強い

心で信心にはげんでいきなさい。

その時はいよいよ十羅刹女の守

りも強くなるのだと思いなさい。

パワーアップのひけつは「負けない心」

やあ、ボクはライオン博士のキング君だよ。みんなは、お題目をあげて良かったなって感じたことあるかな？「テストで前より良い点数がとれた」「友だちに勇気を出して声をかけられた」……。うんうん、立派だね～！ししの子のみんなが、お題目根本にチャレンジしていることを聞くと、ボクはとってもうれしいよ。

実はね、このお題目のパワーをもっと強くさせることができるんだ。「えっ、そんなこと本当にできるの？」って思ったでしょ。日蓮大聖人が、パワーアップのひけつを教えてください。御文をくわしく学んでいこう！

今回の御文は、乙御前と呼ばれる小さなむすめがいとお母さんに送られたお手紙だよ。大聖人はまず、あなたの深い志は言い表すことができないくらいすばらしいと、乙御前の母をほめたたえられた。乙御前の母も、みんなと同じように、日々お題目をあげて、いろいろなやみに負けず、がんばっていたんだよ。そんな乙御前の母に対して、大聖人はさらに「なお一層強い心で信心にはげんでいきなさい」と言われた。これこそが、

パワーアップのひけつさ！

「強い心」というのは、決して特別なものではなくて、自分の力を信じて、御本尊に祈りぬく心。何があってもあきらめず、挑戦し続ける心だよ。だれでも失敗したり、なやんだりすることはあるけど、“自分は負けない”と信じて、歩み続けることが大事なんだね。

もちろん、この願いをかなえたい、なやみを乗り越えたいと、お題目を唱えること自体、ものすごい力を持つことだし、すばらしい挑戦さ。加えて「一層強い心」で祈っていくと、はかりしれないパワーがぐんぐん自分の中から出てきて、どんな状況ようも大きく変えていくことができるんだ。ししの子のみんなが、強い心で立ち上がれば、乗り越えられないかべなんてひとつもないんだよ。

池田先生は語られているよ。

「うまくいった時も、いかなかった時も、題目を忘れず、『いよいよ、これからだ』と、たくましくほがらかに挑戦を続けることです。そして、自分の中から新しい才能の芽を、どんどん伸ばしていきましょう」

お題目をあげて、ししの心をふるい起こし、みんなの無限の可能性を広げていこう～！